

KSM-NS100T(パイプ内径接合)  
KSM-NS100P(受口接合)

この度は当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。  
ご使用前に本取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使い下さい。

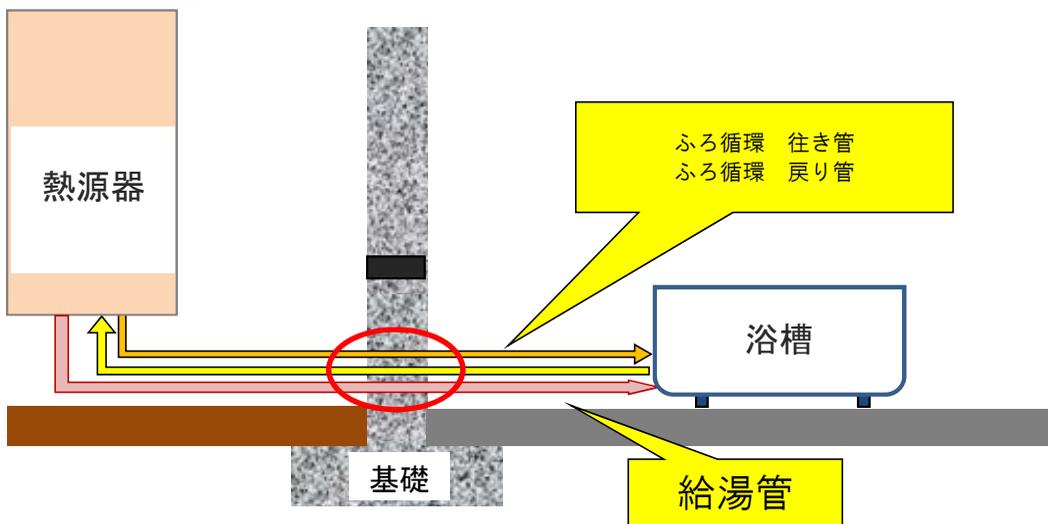


・ 本製品は熱源器の配管時に使用する目地ソケットです。  
給排水継手としては使用しないで下さい。

・ 配管の際は本製品専用の目地パッキン(別売)をご使用下さい。  
なお、目地パッキンの適応管種については裏面をご覧ください。

※適応外の管種を使用した場合、虫や湿気などの浸入のおそれがあります。

## 施工例



基礎貫通部(丸囲い部)に本製品をご使用ください。  
接合部の形状に従ってTタイプ、Pタイプの目地ソケットをお選び下さい。

# 前澤化成工業株式会社

裏面もご覧ください

## パッキン適応管種

配管部材の外径により使用する目地パッキンをお選び下さい。

パッキン品番(Mコード)	適応管外径(mm)	適応管種
KSM-NP24-32 (70053)	Φ24～Φ33	・保温材＋樹脂管 ・さや管＋樹脂管
KSM-NP34-37 (70054)	Φ34～Φ37	・CD管PF管 (JIS C8411適合品)
KSM-NPD37×24 (70050)	長37×短24 楕円管	・10Aペアチューブ用 楕円さや管
KSM-NPC (70055)	—	配管しない場合

## 施工方法

- ①配管する管の外径に対応した目地パッキンを本製品に装着します。  
※装着しにくい場合はあらかじめ目地パッキンを水に濡らしてから装着して下さい
- ②本製品と基礎貫通部に接着剤を塗布し接合させます。
- ③管を目地パッキンに挿入します。  
※位置が決まりましたら目地パッキンにすきまやズレが生じないように管をなじませてください



- ・GL下の基礎部を貫通させる場合には、さや管を用いた配管として下さい。
- ・目地パッキンへ管を挿入後に長さ調整をする時は目地パッキンの脱落や管と目地パッキンにすきまが生じないように配管して下さい。

・極端な斜め挿入や、パッキン部を起点に管を曲げることはしないで下さい

※正しく配管されない場合、虫や湿気などの浸入のおそれがあります。

その他ご不明な点がございましたら、当社までお問い合わせください。

## 前澤化成工業株式会社

ホームページアドレス <http://www.maezawa-k.co.jp/>